

サステナビリティ推進に向けた取組み

グループサステナビリティビジョン	69
サステナビリティ推進に向けた取組み	69

サステナビリティ推進に向けた取り組み

グループサステナビリティビジョン

SOMPOグループは、未来に向けた対話を通じてステークホルダーと積極的にかかわりあいながら、高い倫理観のもと国際的な行動規範を尊重し、気候変動や生物多様性などの環境問題、人権やダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン、地域社会への配慮などを自らの事業プロセスに積極的に組み込むとともに、社会に対して透明性の高い情報を積極的かつ公正に開示していきます。また、常に一步先を見据えて、社会の安心・安全・健康に資する商品・サービスの提供をすることで、ソリューションプロバイダーとしてレジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

サステナビリティ推進に向けた取り組み

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの取り組み

多様化するお客さまニーズに対応し、性別・年齢・経歴に関係なく価値を創造・提供し、会社の成長を実現するために、誰もが能力を発揮できる環境を整備する等のダイバーシティ推進に取り組んでいます。人事制度改革や社内研修、

テーマ別座談会などの実施を通して、企業風土の醸成・環境整備・制度活用の促進を行い、「D&I AWARD 2024」において最高評価「ベストワークプレイス」に2年連続認定されました。



「認知症サポーター養成講座」の開催

高齢化が進むなか、認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族へ適切な対応を行うことは、お客さまへのサービスの品質向上およびよりよい社会の実現につながると考えています。また当社は、2018年10月に『笑顔をまもる認知症保険』を発売しており、社員に向けての認知症への理解を促進しています。

2024年度は引き続き、TV会議システムを活用したオンライン受講も併用して、新たに249名以上の社員および当社取扱代理店職員が、全国で認知症サポーター養成講座※を受講しました。認知症サポーターの数を増やし、より安心・安全・健康な社会の実現を目指します。

※認知症サポーターとは厚生労働省が推奨する事業で、講座を通じて、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族を温かく支援することを目的としています。



日本赤十字社「献血」への協力

日本赤十字社を通して輸血を必要としている方々に血液を届けるため、2014年から本社ビルで毎年、献血イベントを開催し、多くの社員が参加しています。献血された血液は、けがの治療で使用する輸血用血液製剤のほかに、がんや白血病、再生不良性貧血などの治療のために使用されます。



パラリンアート オフィシャルパートナー

障がい者アートを支援する「パラリンアート※ オフィシャルパートナー」として、パラリンアート作品を使用したノベルティーを作成するなど、全社で障がい者アートを応援しています。

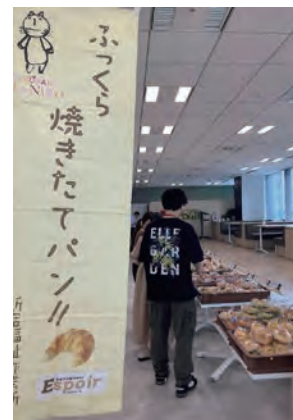
※パラリンアートとは、障がい者アーティストとひとつのチームになり、社会保障費に依存せず、民間企業・個人の継続協力で障がい者支援を継続できる社会貢献型事業です。



サステナビリティ推進に向けた取り組み

福祉作業所によるパンの販売

本社ビルで、月に1度、福祉作業所の方に焼き立てパンの販売を行っていただき、社員が購入しています。福祉作業所は障がい者の就労支援のための施設で、主に知的障がいを持つ方々が、日々いろいろな作業を行いながら、地域社会に参加されています。障がい者の方が自分たちで製造したパンを自分たちで販売することにより、外部の人と触れ合うとても有意義な経験となっています。



プロゴルファー金谷拓実選手との所属契約

2021年度に準所属契約を締結したプロゴルファーの金谷拓実選手と所属契約を締結しました。金谷選手は、2024年度に国内男子ツアーの「賞金王」に輝き、国内ツアー終了直後には念願のPGAツアー出場権を獲得。2025年シーズンは世界へと舞台を移し、常に挑戦し続けています。当社は、これからも金谷選手の挑戦を応援し、私たちも「健康応援企業」として「挑戦」を続けていきます。

